

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第370回

新庄剛志

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年9月25日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

自分に勝てれば 誰に負けてもいいんだよ。



新庄 剛志は、日本の元プロ野球選手、野球監督。長崎県対馬市生まれ、福岡県福岡市南区出身。2022年シーズンより北海道日本ハムファイターズの監督を務めるほか、タレント・実業家・クリエイター・地方競馬全国協会の馬主でもある。

Column

北海道日本ハムファイターズの『BIG BOSS』でお馴染みの新庄監督の言葉です。メディア出演も多く、明るくてポジティブなイメージの新庄監督ですから、笑顔でサラッと今回の言葉をかけてくれるのだろうと、実際に言ってもらえたような気分になりました。

自分に勝つということは本当に大変だと思います。誰もが簡単に願いが叶うといいなと思っていますし、努力をするということの大変さもよく知っています。ですから知らず知らずのうちに叶えたい願いと実現するだけの労力を天秤にかけてしまうところがあり、最初は頑張っている途中で『こんなに大変なら諦めよう…』という思考に陥ってしまいます。新庄監督は誰もが一度はあると思われる自分に負けたというエピソードがひとつもないのかもしれないと思うほど自信に満ち溢れて見えますが、散々自分に負けて落ち込んで這い上がって大変な努力をすることで多くの経験を積んだからこそ今回の言葉が言えるように感じます。

過去に自分に負けてしまったことを振り返ると“なんであの時諦めてしまったんだろう…”と思うことがいくつかあると思います。私はそんなことだらけです…。そう思うのは今のみなさんはその当時から今までに様々な経験を積んだことによってレベルアップした今ならクリアできると思えるからです。まずは焦らず自分の現状を受け入れ“まだまだ成長段階”と言い聞かせながら未来の自分に期待して努力していくことが重要です。そういう意味では、成長段階で失敗も多い今の自分に惜しめない応援をしてくれる家族や仲間たちの存在に対して“そんな人たちが自分にはついてるんだ！”という自信や感謝を持つことも非常に大切なことだと思います。みなさんも一度は聞いたことがあると思いますが『最大のライバルは自分』という言葉があります。自分の強みも弱みも全て知っているわけですから本当にその通りだと思います。やっとの思いで自分に勝てた次の日に違う理由で自分との勝負が始まることもあると思います。“勝たなきゃ”と思えば焦りが生まれます。まずは自分と作戦会議や自分の武器（家族や仲間の存在）の再確認をする余裕を持って取り組み、自己実現に向けて一歩ずつ進んでいきたいものですね！